

# 西東京の教育



2021.11.15 / No.95

## topics

- ①学びを止めない～西東京市のオンライン授業～
- ②ひばりが丘中学校が移転しました! ほか
- ③東京文化財ウィーク2021 ほか
- ④「まちなか先生」スタートしています!  
～取組のご紹介～ ほか

## 学びを止めない ～西東京市のオンライン授業～

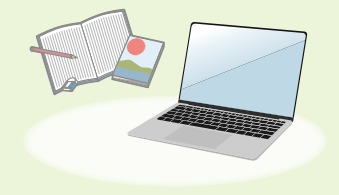


緊急事態宣言の期間延長に伴い、市立小・中学校では密を避けることを目的として、家庭と学校をつなぐオンライン授業を実施しました。

今回の新型コロナウイルス感染症拡大という危機に対して、オンライン授業を実施するにあたり、先生方は校内での研修などを通して準備を進めました。

オンライン授業について、児童・生徒からは、「意見を言いやすい」「先生の話が聞きやすい」「先生と画面が共有できて、資料が見やすい」などの声があった一方、オンライン上での友達との意見の交流などに難しさを感じる場面もありました。

今後も西東京市GIGAスクール構想の実現に向けて学校とともに尽力し、子どもたちの学びを止めないよう工夫をしていきます。



◆教育指導課 042-420-2827

# ひばりが丘中学校が移転しました！

ひばりが丘中学校は約60年前に住吉町に建設されましたが、施設の老朽化が進んだことから、ひばりが丘の新校舎に移転しました。2学期から新しい校舎での授業が始まっています。

**新校舎** ▶所在地 ひばりが丘三丁目2番42号 ▶電話 042-439-5550



校舎



教室



体育館



## 旧校舎に感謝の気持ちを込めて



「旧校舎の思い出と新校舎への希望をもつこと」・「開校60周年記念」をテーマに旧校舎の教室に黒板アートを作成しました。生徒たちの思いが詰まった、彩り豊かな作品が完成しました。



◆教育企画課 042-420-2823

## こんなことをしています！～避難所運営協議会の取組紹介～

全市立小・中学校に設置されている避難所運営協議会では、さまざまな活動が行われています。ここでは、各学校の活動の一部をご紹介します。

### ●地域防災訓練(芝久保小学校)

6年生の防災教育の一環として、避難所運営協議会主催の地域防災訓練を実施しました。訓練では、避難者カードの記入演習や、会長による講義、体験班と見学班に分かれて、段ボールベッドの組立や備蓄倉庫・マンホールトイレ・応急給水等の見学を行いました。



避難者カード記入演習



会長による講義



段ボールベッド組立



備蓄倉庫見学

### ●小・中学校合同開催(保谷第二小学校、柳沢中学校)

近隣2校による、合同での避難所運営協議会が開催されました。会議では、「子どもたちが参加できる」ことを目標とし、避難所開設訓練、避難者受け入れ態勢の確認をはじめ、近隣施設との連携等を計画的に進めていくための話し合いが行われました。



会議の様子

### ●防災設備設置訓練(中原小学校)

新校舎の防災設備を知ることを目的に、かまどベンチやマンホールトイレの設置、校舎内外の防災設備の確認訓練を行いました。



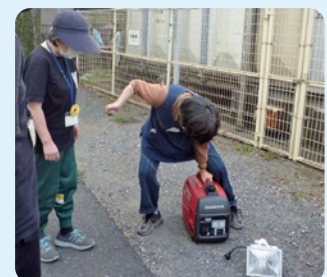
かまどベンチ組立



マンホールトイレ

### ●防災備蓄品等点検(栄小学校)

教職員が災害に備えて、防災倉庫の確認や応急給水用スタンドパイプやリヤカーなどの組立、発電機の起動を行いました。



発電機

◆教育企画課 042-420-2822

つ  
な  
ご  
う  
よ  
  
防  
犯  
機  
運  
は  
  
永  
遠  
に

つなごうよ 防犯機運は 永遠に

# 東京文化財ウィーク2021

東京都では秋に文化財ウィークとして、各市区町村の文化財の公開や企画を行っています。本市では今年もイベントや特別展示を開催中です。内容等については東京都生涯学習情報ホームページの東京文化財ウィーク情報をご覧ください。

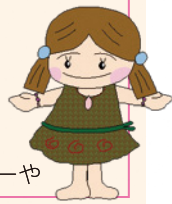
## 史跡 下野谷遺跡 第15回 縄文の森の秋まつり ～つながる 遺跡とまちとみんなの心～

下野谷遺跡毎年恒例の秋まつり。今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、縄文体験のデモンストレーションや演奏会を動画配信で行っています。動画を見ながら家で縄文体験を楽しめるよう、体験キットの配布も行っています。今年はぜひ、家で下野谷遺跡をお楽しみください。

- ▶ 動画配信・体験キット配布期間  
…11月上旬～令和4年1月31日(月)まで
- ▶ 体験キットの配布場所  
西東京市郷土資料室(西原総合教育施設2階)・  
社会教育課窓口(田無第二庁舎3階)・  
東伏見ふれあいプラザ



▶ 秋まつりの動画はこちら



©T&K/西東京市

## 渋沢栄一が生きた時代 田無・保谷の歴史のあゆみ ～西東京市にのこる渋沢栄一 縁の人々の志を追う～

郷土資料室にて、渋沢栄一をめぐる人々に関する特別展示を行っています。

渋沢栄一が生きた時代の田無・保谷の歴史のあゆみを紹介します。そこには、栄一“縁の人”たちが、青天に刻んだ志の跡も追うことができます。

- ▶ 日時 10月30日(土)～11月28日(日)  
(月・火休室) 午前10時～午後5時
- ▶ 申込 不要・入場料無料
- ▶ 会場 西東京市郷土資料室・企画展示室
- ▶ 問合せ 郷土資料室
- ▶ 電話 042-467-1183
- ▶ 所在地 西原町四丁目5番6号(西原総合教育施設2階)
- ▶ 交通 西武新宿線「田無駅」北口・西武池袋線「ひばりヶ丘駅」南口から西武バス(田44・境07系統)で「西原グリーンハイツ」下車徒歩3分
- ▶ 新型コロナウイルス感染症への対応として、下記を実施しています。
  - ・展示室の換気及び展示ケースの消毒
  - ・手指消毒液の設置
  - ・来室者への受付票ご記入のお願い(氏名、連絡先等)

◆社会教育課 042-420-2832

# 図書館バックヤードツアーを開催しました!

図書館では、子どもと本の出会いの場を身近なところで作り、自主的な読書活動につなげてもらえるような取組を進めています。今年の夏休みは、恒例の一日図書館員ではなく、普段利用者が入ることがない図書館の裏側を案内する「図書館バックヤードツアー」を開催しました。

### ● 谷戸図書館バックヤードツアー

- ▶ 開催日：8月9日(月)
- ▶ 参加学年・人数：小学1～3年生の親子12組
- ▶ 内容：書庫に保存している子どもの本やハンディキャップサービスの閲覧



書庫の見学の様子



ハンディキャップサービス説明の様子

### ● 柳沢図書館バックヤードツアー

- ▶ 開催日：8月20日(金)
- ▶ 参加学年・人数：小学4～6年生の8人
- ▶ 内容：休館している図書館の見学や図書館員の仕事体験



返却作業の様子



本の装備の様子

参加者からは「普段入ることができない場所を見られて楽しかった」「こんなにたくさんの本といろいろな作業があって、大変だと思った」といった声がありました。

引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じた上でイベントの実施を検討していきます。

◆図書館 042-465-0823

さらに、防犯効果を高めるため、防犯カメラの存在を周知する看板を、カメラ1台に対し3枚程度掲出しています。

### 「まちなか先生」スタートしています！～取組のご紹介～

今年度から全市立小・中学校のうち、希望があった学校に対して、地域で活動している方や団体、専門職員(学芸員、司書)が講師として授業を行う、「まちなか先生」を行っています。今回は実際に行った2つの取組をご紹介します。

#### やってみよう!考えよう! したのや 縄文時代と下野谷遺跡 東伏見小学校6年生

西東京市が誇る史跡である下野谷遺跡について、タブレットやVR(バーチャルリアリティ)を使いながら楽しく学びました。

授業では、本物の土器片を観察しながら粘土と縄で文様を再現し、縄文人がどのように土器を作っていたのかを体験しました。この体験を図工の土器作りに生かしました。

また、縄文人は自然とうまく付き合い、戦争をしなかったことから、児童がSDGsや戦争について考えるきっかけになりました。



土器文様の再現

#### 災害(風水害)で何が起こるか想像してみよう ～東京マイ・タイムライン\*をつかって～ 住吉小学校4年生

自然災害に対する情報の集め方や知識を得るために、東京マイ・タイムラインやハザードマップを使った体験学習を行いました。

昨年から今年にかけて雨による災害が多かったため、子どもたちの興味・関心も非常に高く、学んだ内容を家族にも共有してもらうことで、今後につながる学習となりました。



ハザードマップ学習

\*講師:西東京レスキューバード

\*マイ・タイムラインとは避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。

◆社会教育課 042-420-2832 ◆公民館 042-464-8211

### 新入学準備金の入学前支給のご案内

来年4月に新小・中学1年生になる子どものいる家庭で、経済的理由により就学困難と認められる場合、就学援助費の新入学学用品費を「新入学準備金」として、入学前(来年2月)に受け取れます。

#### 対象者

令和3年12月31日時点で西東京市に住民登録があり、以下のいずれかに該当する方

- ①令和3年4月以降に生活保護が廃止または停止となった方
- ②児童扶養手当を受給している方
- ③家族全員の市民税が非課税の方
- ④東日本大震災又は大規模災害で被災し避難している方
- ⑤失業、退職、休職等により家計が急変し、今年度の収入見込み額が認定基準以内の方
- ⑥令和2年1月から12月までの家族全員の収入額の合計が、教育委員会の定めた認定基準以内の方

なお、認定基準は平成30年4月1日現在の生活保護基準額表から算出した需要額の1.5倍未満となります。

#### 申請受付

11月1日(月)から12月28日(火)まで  
(土・日・祝日を除く午前8時30分～午後5時)  
〈場所〉学務課(田無第二庁舎3階)

#### 臨時受付

12月6日(月)から10日(金)まで  
(午前8時30分～午後5時)  
〈場所〉保谷東分庁舎地下1階 会議室2

※いずれも郵送での受付不可  
必要書類など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

西東京市 新入学準備金

検索

◆学務課 042-420-2824

### コミュニティ・スクール始動!

教育委員会では、子どもたちが地域の協力を得て成長していくことができる仕組みの充実を図るため、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動を推進しています。

#### ●コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置している学校を指します。

コミュニティ・スクールは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画できる仕組みです。

#### ●学校運営協議会とは

学校運営協議会とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、校長が作成する学校運営の基本方針の承認を通じ、一定の権限のもと、学校運営とそのために必要な支援について学校と対等な立場で協議などを行う合議制の機関です。

今年度  
モデル実施校の  
けやき小学校(左)と  
明保中学校(右)の  
学校運営協議会の様子



#### ●コミュニティ・スクールと地域学校協働活動

学校運営協議会の仕組みを生かして、学校と地域の効果的な連携・協働を推進していくためには、より多くの幅広い層の地域住民、団体等が参画する地域学校協働活動とコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の双方が機能することが重要です。地域学校協働活動推進員が学校運営協議会の委員になることで、学校と地域が目標やビジョンをしっかりと共有し、一体となって取り組む推進体制を構築することができます。

◆教育企画課 042-420-2822 ◆社会教育課 042-420-2831

### 教育委員会事務事業の点検・評価報告

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定に基づき、令和2年度における主な施策事業である21項目についての点検及び評価を行い、報告書を作成しました。

今後も、充実した教育の実現を目指し、様々な施策を展開します。報告書は、市情報公開コーナー及び市ホームページで公開しています。

◆教育企画課 042-420-2822